

# 放射能汚染が栃木県の狩猟者の行動に与えた影響

上田剛平<sup>1</sup>・高橋満彦<sup>2</sup>・丸山哲也<sup>3</sup>・松田奈帆子<sup>4</sup>

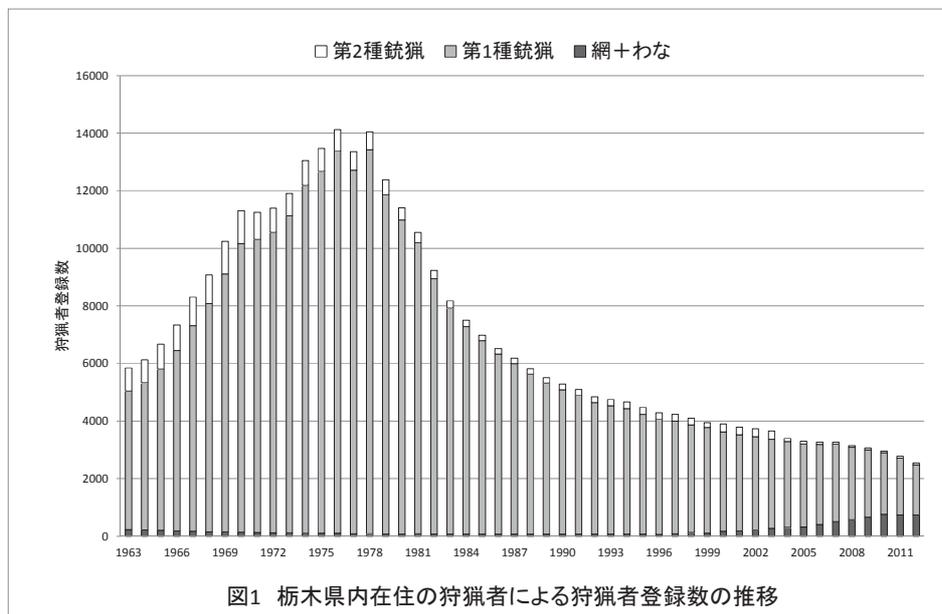
(1 兵庫県但馬県民局朝来農林振興事務所、2 富山大学、3 林業センター (県民の森管理事務所)、  
4 自然環境課)

Effects of radioactive contamination on hunters' behaviors in Tochigi Prefecture.

Gouhei Ueda, Mitsuhiro Takahashi, Tetsuya Maruyama, and Naoko Matsuda

## 1 はじめに

狩猟者の減少と高齢化は、深刻化する野生動物管理において喫緊の行政課題である。栃木県の狩猟者登録数（県外者を除く）は、1970年代の約14,000人をピークに平成24(2012)年には2,542人にまで減少した（図1）。さらに平成23(2011)年3月に発生した福島第一原発事故は、野生動物に対する深刻な放射能汚染を招く結果となり、野生動物の捕獲の担い手である狩猟者に対し、様々な影響を与えていると考えられる。この影響を明らかにするため、狩猟者を対象とした3つのアンケート調査を実施した。1つ目は、現役の狩猟者を対象としたアンケート調査（以下、更新者アンケートと記す）である。この調査は、平成24(2012)年度に狩猟免許を更新した狩猟者を対象に、全国19都県で実施した。2つ目は、元狩猟者を対象としたアンケート調査（以下、未更新者アンケートと記す）である。この調査は、平成24(2012)年度に狩猟免許を更新しなかった狩猟者を対象に、全国14県で実施した。3つ目は、平成24(2012)年度の狩猟免許試験受験者を対象としたアンケート調査（以下、新規狩猟者アンケートと記す）である。この調査は栃木県、岐阜県、広島県の3県で実施した。本報告では、これら3つのアンケート結果を分析し、放射能汚染が栃木県の狩猟者の行動に与えた影響を考察する。



## 2 材料と方法

更新者アンケートは東日本を中心に19都県で実施し（表3参照）、22,008通を回収、うち栃木県では1,103通（配布数1,126通、回収率98.0%）を回収した。ただし、本報告では、一部事項で分析対象を東日本の都県に絞っている。同アンケートは狩猟免許更新講習会の会場で実施し、その場で回収

した。未更新者アンケートは東日本を中心に14県にて(表5参照)、宛名不明者を除く未更新者全員6,049名全員を対象に実施し、2,690通を回収(回収率44.5%)、うち栃木県では244通を回収した(対象者数507名、回収率48.1%)。同アンケートは、切手貼付済み(栃木県)もしくは料金受取人払(栃木県以外)の返信用封筒を同封した郵送法により実施した。本報告では、放射能汚染関連の質問を行った東日本8県のデータを用いた。新規狩猟者アンケートは1,033名を対象に実施し、638通を回収、うち栃木県では112通(配布数147通、回収率76.2%)を回収した。本報告では栃木県のデータのみを用いた。

### 3 結果

#### (1) 更新者アンケート

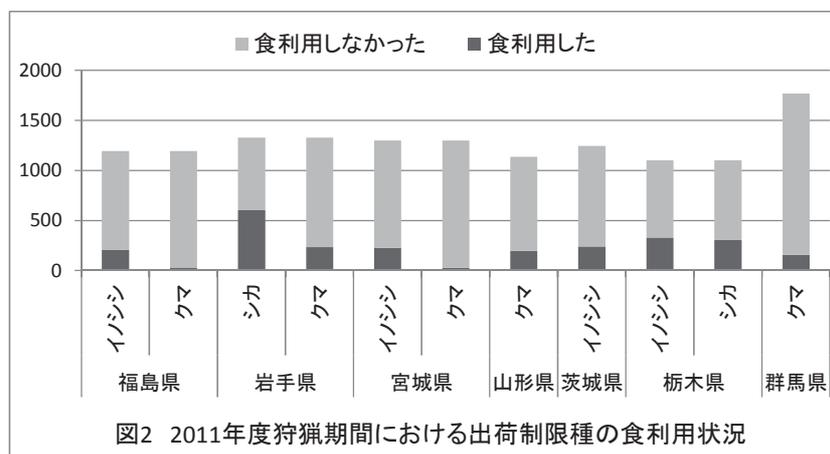
##### ① 狩猟者の放射能汚染に対する意識

「猟場の放射能汚染が不安で出猟をためらうことがある」(以下、猟場の放射能汚染への懸念と記す) (「1:全く当てはまらない~7:非常に当てはまる」の7件法で回答)は、栃木県では「6:当てはまる」(18.9%)が最も多く、平均スコアは4.35、福島県、宮城県に次ぎ3番目に高かった(付表1)。「とった獲物の放射能汚染が気になる」(以下、獲物の放射能汚染への懸念と記す) (「1:全く当てはまらない~7:非常に当てはまる」の7件法で回答)は、栃木県では「7:非常に当てはまる」(26.5%)が最も多く、平均スコアは5.13、同じく福島県、宮城県に次ぎ3番目に高かった(付表2)。

以上の結果から、栃木県の狩猟者の放射能汚染に対する意識は福島県、宮城県に次いで高く、猟場よりも獲物の汚染状況を懸念する意識が強いことが分かった。

##### ② 獲物の食利用状況

平成25(2013)年12月末現在、青森県、秋田県を除く東北4県と、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、千葉県の前9県で、野生鳥獣の肉(地域によって対象種が異なる)の出荷制限が指示されている。調査を実施しなかった新潟県(ノウサギが対象)と千葉県(イノシシが対象)を除く7県で、出荷制限対象となっている野生獣(大型獣に限る)を、どの程度の狩猟者が食べたのか分析した結果を図2に示す。特にイノシシの汚染が広域的に問題となっているが、少数ながら福島県でもイノシシを食利用した人がいたことを示している。栃木県では、イノシシを食利用した人が29.8%と調査地域中で最も高く、シカを食利用した人(27.7%)は岩手県(45.5%)に次いで高かった。これらの結果から、栃木県では狩猟者の放射能汚染に対する意識は高いものの、食利用については他地域と比較して積極的である可能性が示唆された。ただし本調査からは、食利用がなされた個体が、汚染の基準値を下回



っていたかどうかは不明である。

③平成 23(2011)年度猟期の狩猟者登録への影響

平成 23(2011)年度の猟期に狩猟者登録をしなかった回答者の割合は、東日本では東京都 (21.9%)、埼玉県 (21.0%)、長野県 (17.6%)、福島県 (16.9%) の順に多く、栃木県は 8.5%であった。栃木県において、狩猟者登録の意思決定に対する放射能汚染の影響を調べるため、狩猟者登録を行ったグループと行わなかったグループ間で、放射能汚染に対する意識 2 項目の平均スコアの違いを分析した (表 1)。狩猟者登録を行ったグループの「猟場の放射能汚染への懸念」は、 $4.22 \pm 1.96$  (SD) (n=428) であったのに対し、狩猟者登録を行わなかったグループでは  $5.11 \pm 1.64$  (SD) (n=35) と後者の値が有意に高かった (t 検定,  $t=-2.63$ ,  $P<0.01$ )。一方、「獲物の放射能汚染への懸念」については、前者が  $5.16 \pm 1.70$  (SD) (n=428) に対し後者は  $5.53 \pm 1.67$  (SD) (n=38) と、有意差は見られなかった (t 検定,  $t=-1.26$ ,  $P=0.21$ )。

これらの結果から、栃木県において平成 23(2011)年度に狩猟者登録をしなかった狩猟者の割合は、福島第一原発周辺の自治体の中では相対的に低かったが、猟場への放射能汚染への懸念が、狩猟者登録の意思決定に対し負の影響を与えていたことが明らかとなった。獲物の放射能汚染への懸念については、狩猟者登録の有無に関わらず高かったことから、この問題は本県の狩猟者にとって共通の大きな課題であることが分かった。

表1 2011年度の栃木県の狩猟者登録の意思決定に放射能汚染が与えた影響

| 質問項目         | 登録あり  |     | 登録なし  |    | t値    | 有意確率   |
|--------------|-------|-----|-------|----|-------|--------|
|              | 平均スコア | n   | 平均スコア | n  |       |        |
| 猟場の放射能汚染への懸念 | 4.22  | 428 | 5.11  | 35 | -2.63 | P<0.01 |
| 獲物の放射能汚染への懸念 | 5.16  | 428 | 5.53  | 38 | -1.26 | P>0.05 |

④平成 23(2011)年度猟期の出猟日数への影響

平成 23(2011)年度猟期の出猟日数は、①1~10日、②11~20日、…、⑨81~90日、⑩出猟なしという間隔尺度の選択肢を設定し回答を求めた (青森県~富山県 13 都県で質問)。この結果を、東日本 12 都県において主流の狩猟方法である銃猟に限定し、さらに放射能汚染の影響が深刻なシカ、イノシシ等の大物を狩猟対象にしている回答者に絞ったうえで、平成 23(2011)年度の出猟日数に影響を与えた要因の検討を行った。出猟日数を従属変数、質問項目のうち狩猟動機 11 項目 (7 件法)、狩猟に対する意識や行動に関する 25 項目 (7 件法)、年齢や狩猟歴などの属性に関する 3 項目、福島第一原発と居住地との直線距離を説明変数とした重回帰分析を行い、ステップワイズ法 ( $P<0.05$ ) により変数の取捨選択を行った。

その結果、影響力の強い順に「狩猟に費やせる時間が十分ある」(以下、余暇時間量と記す) (0.24)、「猟犬との一体感を味わうために狩猟を続けている」(以下、猟犬との一体感と記す) (0.12)、猟場の放射能汚染への懸念 (-0.12) となった (括弧内の数値は標準化係数) (表 2)。モデルの適合度を示す調整済み  $R^2=0.19$  ( $P<0.001$ ) で、この解析結果の説明力は高いと考えられた。このことはすなわち、余暇時間量が多い人ほど出猟日数が多く、猟犬との一体感といった趣味的な狩猟動機が強い人ほど出猟日数が多いことを示しているが、猟場の放射能汚染への懸念が、出猟日数を減少させる影響力を持っていることも示している。

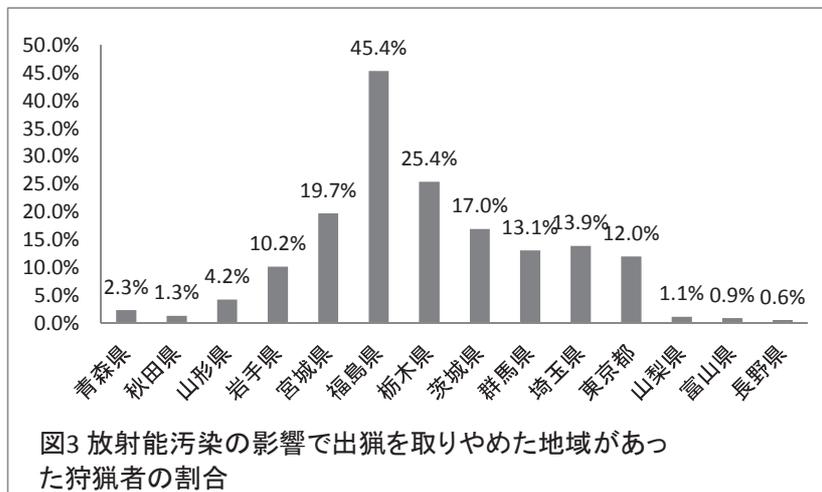
同様の分析を栃木県に限定して行ったところ、有意であった変数は余暇時間量 (0.32) と猟場の放射能汚染への懸念 (-0.22) の2つで、調整済み  $R^2=0.12$  ( $P<0.001$ ) であり、この解析結果の説明力は高いと考えられた。栃木県では、猟場の放射能汚染への懸念が出猟日数の減少に与える影響は、他地域と比較して大きい可能性が示唆された。

表2 大物を狩猟対象としている銃猟者の2011年度の狩猟期間の出猟日数に影響を与えた要因

| 要因                       | 標準化係数 | t     | 有意確率       |
|--------------------------|-------|-------|------------|
| 狩猟に費やせる時間が十分ある           | 0.24  | 9.50  | $P<0.0001$ |
| 猟犬との一体感を味わうために狩猟を続けている   | 0.12  | 5.25  | $P<0.0001$ |
| 猟場の放射能汚染への懸念             | -0.12 | -4.88 | $P<0.0001$ |
| 利用する猟場は大体決まっている          | -0.11 | -4.62 | $P<0.0001$ |
| 狩猟歴                      | 0.10  | 4.05  | $P<0.0001$ |
| 多少遠くても、いい獲物がいれば出猟することがある | 0.10  | 4.02  | $P<0.0001$ |
| 狩猟鳥獣でも数が減っているものは獲るべきではない | -0.09 | -3.65 | $P<0.0001$ |
| 捕獲技術の向上心がある              | 0.07  | 2.80  | $P<0.01$   |
| 次年度の出猟意欲がある              | 0.07  | 2.76  | $P<0.01$   |
| 猟場は自宅の近隣である              | 0.07  | 2.54  | $P<0.05$   |
| 居住地域の獣害は深刻である            | 0.06  | 2.50  | $P<0.05$   |
| 猟場の土地所有者が誰なのか大体知っている     | 0.06  | 2.37  | $P<0.05$   |
| 福島第一原発までの直線距離            | -0.06 | -2.31 | $P<0.05$   |

⑤平成 23(2011)年度猟期の出猟場所への影響

放射能汚染の影響によって出猟を取りやめた地域があった狩猟者の割合は、福島県が最も多く (45.5%)、ついで栃木県 (25.4%)、宮城県 (19.7%)、茨城県 (17.0%) であった (図 3)。出猟を取りやめた具体的な市町村名を集計したデータに、調査地域ごとのアンケート回答者数と実際の狩猟者数の比率の違いを考慮して、どの市町村でどの程度出猟者数が減少したかの推定値を算出したところ、福島県の太平洋側を中心に減少していたほか、栃木県日光市周辺、宮城県南部でも出猟者数の大幅な減少が見られていたことが分かった (図 4)。これらの地域では、野生動物の捕獲圧の低下に伴う個体数の増加が生じている可能性がある。



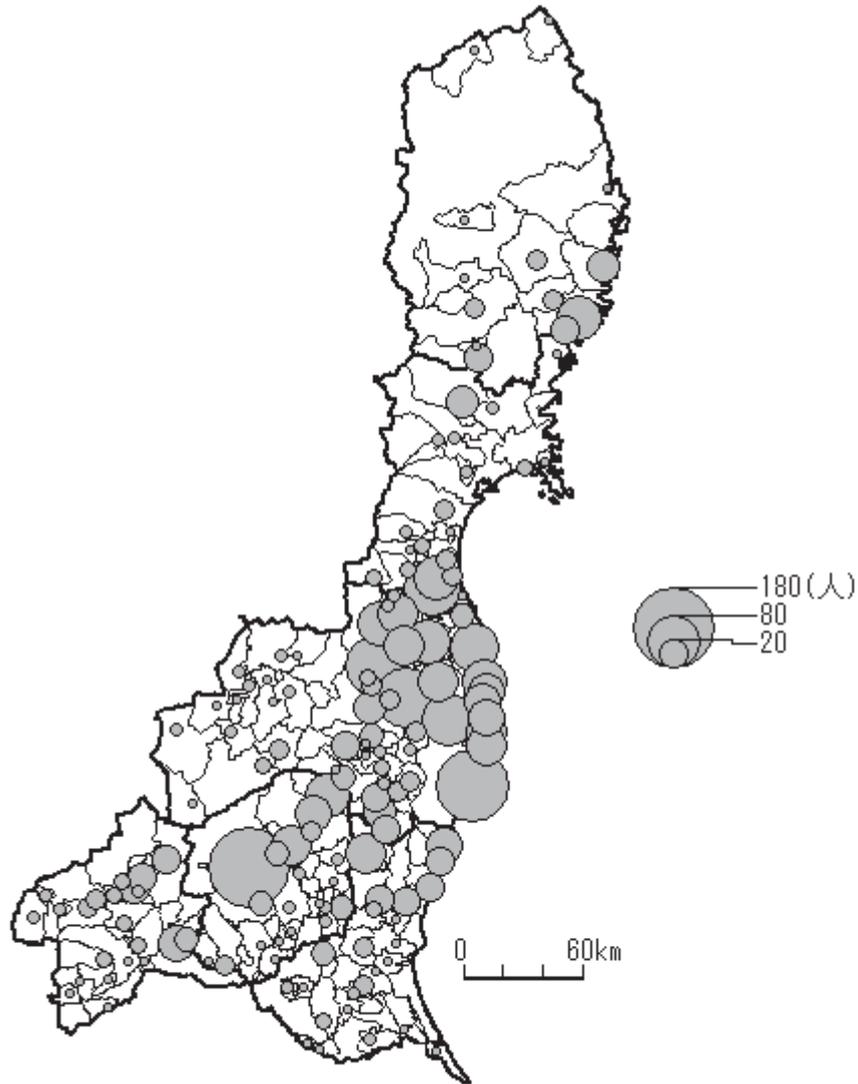


図4 東日本太平洋側の市町村別に見た放射能汚染による2011年度狩猟期間の出猟取りやめ狩猟者数の推定値

⑥狩猟者の減少への影響

今後何年間狩猟を続けたいかという質問に対する回答を、調査地域別に集計した結果を表3に示す。5年後では、現在の狩猟者の23.5%（長崎県）～37.9%（富山県）が狩猟を辞めている可能性が考えられ、狩猟者の減少速度に地域差がある可能性が示唆されたが、10年後には72.7%（奈良県）～82.0%（島根県）と、全国で例外なくほとんどの狩猟者が狩猟を辞めていると考えられた。放射能汚染の影響がある地域とそうではない地域に特徴的な差は見られなかったため、現在も狩猟を継続している狩猟者の、引退時期に対する放射能汚染の影響は、限定的である可能性が示唆された。

表3 狩猟者の減少予測

|     | 5年後   | 10年後  | 15年後  | 20年後  | 25年後  | 30年後  |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 青森県 | 34.7% | 80.8% | 88.4% | 96.1% | 96.9% | 98.9% |
| 秋田県 | 36.0% | 77.4% | 85.2% | 94.3% | 96.0% | 99.0% |
| 山形県 | 34.0% | 78.0% | 87.3% | 95.4% | 95.9% | 98.9% |
| 岩手県 | 33.5% | 76.8% | 86.9% | 95.6% | 97.0% | 99.2% |
| 宮城県 | 33.5% | 76.8% | 87.7% | 96.1% | 96.6% | 99.0% |
| 福島県 | 29.2% | 78.1% | 85.5% | 94.9% | 95.6% | 98.9% |
| 栃木県 | 31.2% | 75.6% | 85.5% | 95.8% | 96.3% | 98.8% |
| 茨城県 | 31.6% | 76.5% | 85.1% | 94.3% | 96.0% | 99.0% |
| 群馬県 | 30.4% | 74.2% | 82.0% | 93.2% | 94.4% | 98.6% |
| 埼玉県 | 33.3% | 80.4% | 85.7% | 95.5% | 96.4% | 99.3% |
| 東京都 | 34.9% | 72.0% | 79.1% | 92.8% | 93.9% | 98.5% |
| 山梨県 | 33.5% | 77.0% | 85.5% | 94.7% | 95.3% | 98.5% |
| 富山県 | 37.9% | 80.8% | 86.7% | 94.4% | 95.6% | 98.4% |
| 長野県 | 36.4% | 78.8% | 86.4% | 94.5% | 95.7% | 98.1% |
| 岐阜県 | 34.4% | 78.4% | 85.6% | 95.1% | 95.7% | 98.8% |
| 奈良県 | 30.6% | 72.7% | 81.3% | 92.1% | 94.2% | 98.8% |
| 島根県 | 35.6% | 82.0% | 90.2% | 97.4% | 98.2% | 99.3% |
| 広島県 | 29.7% | 79.5% | 87.9% | 95.7% | 96.6% | 99.2% |
| 長崎県 | 23.5% | 73.8% | 83.4% | 95.0% | 95.7% | 99.4% |

(2) 未更新者アンケート

①未更新者の属性

調査地域8県の未更新者の平均年齢は69.3歳±9.00 (SD) (n=1,921) で、地域間で差はほとんどなかった(栃木県 68.4 歳～岩手県 70.7 歳)。平均狩猟歴は 39.0 年±13.0 (SD) (n=1,837) で、これについても地域間で差はほとんどなかった(福島県 37.7 年～山形県 41.5 年)。所持していた狩猟免許の種類は、地域問わず第 1 種銃猟のみが最も多かった(群馬県 77.2%～秋田県 92.5%)。最も力を入れていた狩猟対象については、いずれの地域も鳥が最も多く(群馬県 55.0%～宮城県 83.2%)、ついで大物(秋田県 10.3%～岩手県 38.5%)であった(表4)。

表4 狩猟免許未更新者が最も力を入れていた狩猟鳥獣の種類

| 県名             | 鳥                | 大物          | 中型         | 出猟なし       |
|----------------|------------------|-------------|------------|------------|
| 秋田県<br>(N=174) | n 140<br>% 80.5% | 18<br>10.3% | 13<br>7.5% | 3<br>1.7%  |
| 山形県<br>(N=151) | n 108<br>% 71.5% | 32<br>21.2% | 9<br>6.0%  | 2<br>1.3%  |
| 岩手県<br>(N=169) | n 99<br>% 58.6%  | 65<br>38.5% | 4<br>2.4%  | 1<br>0.6%  |
| 宮城県<br>(N=149) | n 124<br>% 83.2% | 18<br>12.1% | 2<br>1.3%  | 5<br>3.4%  |
| 福島県<br>(N=348) | n 254<br>% 73.0% | 81<br>23.3% | 2<br>0.6%  | 11<br>3.2% |
| 栃木県<br>(N=221) | n 129<br>% 58.4% | 83<br>37.6% | 1<br>0.5%  | 8<br>3.6%  |
| 茨城県<br>(N=298) | n 241<br>% 80.9% | 43<br>14.4% | 8<br>2.7%  | 6<br>2.0%  |
| 群馬県<br>(N=171) | n 94<br>% 55.0%  | 60<br>35.1% | 3<br>1.8%  | 14<br>8.2% |

②狩猟を辞めた理由

調査地域での未更新者の発生状況を、回収率とともに表5に示す。福島県が28.1%と最も高く、次いで山形県(25.5%)、宮城県(25.3%)、栃木県は22.7%であった。狩猟を辞めた理由23項目に対する回答(「1:全く当てはまらない~7:非常に当てはまる」の7件法で回答)の平均スコアを、調査地域ごとに集計した結果を付表3に示す。地域を問わず平均スコアが高かったのは、「猟銃所持許可の更新が複雑で難しいから」(宮城県4.39~岩手県4.80、8県の平均4.48)、「猟銃や実包・火薬類の規制が厳しいから」(宮城県4.06~栃木県4.67、8県の平均4.46)、「高齢化や病気、怪我のため」(福島県3.52~山形県4.24、8県の平均3.97)の3項目であった。放射能汚染関連の質問4項目(猟場の放射能汚染への懸念、獲物の放射能汚染への懸念、肉の放射線量の計測が困難だから、放射線量基準値を超えた獲物の処理が困難だから)については、福島県がいずれも最も高く(それぞれ4.12、4.16、3.97、4.06)、栃木県がそれについて高かった(それぞれ3.15、3.26、3.09、3.18)。

狩猟を辞める理由は、狩猟免許の種類や狩猟対象によって異なっていることが指摘されている(上田ほか2012)。そこで、調査地域で主流の狩猟方法である銃猟で、かつ狩猟対象が鳥であったグループと大物であったグループ間で、狩猟を辞めた理由23項目のうち上記の放射能汚染関連の質問4項目の平均値に差があるかどうかt検定を行った。結果、地域を問わず狩猟対象間で有意差は見られなかった。

以上の結果から、狩猟を辞めた理由として最も影響が大きかったのは、平成21(2009)年の銃刀法改正に基づく猟銃に対する規制強化であった。福島県では、放射能汚染の影響が高齢化や病気より強く、狩猟を辞めるきっかけとして重要であったと考えられたが、他地域での影響力は相対的に小さかったと考えられた。

表5 調査地域における未更新者の発生状況とアンケートの返信率

| 実施地域 | 更新者数 | 未更新者数 | 未更新率  | 宛名不明者等 | 返信数 | 返信率   |
|------|------|-------|-------|--------|-----|-------|
| 秋田県  | 1704 | 448   | 20.8% | 4      | 200 | 45.0% |
| 山形県  | 1200 | 410   | 25.5% | 5      | 178 | 44.0% |
| 岩手県  | 1389 | 429   | 23.6% | 30     | 216 | 54.1% |
| 宮城県  | 1235 | 419   | 25.3% | 24     | 178 | 45.1% |
| 福島県  | 2330 | 912   | 28.1% | 6      | 418 | 46.1% |
| 栃木県  | 1757 | 516   | 22.7% | 9      | 244 | 48.1% |
| 茨城県  | 2581 | 851   | 24.8% | 36     | 313 | 38.4% |
| 群馬県  | 1825 | 486   | 21.0% | 26     | 184 | 40.0% |
| 富山県  | 531  | 149   | 21.9% | 3      | 64  | 43.8% |
| 岐阜県  | 1538 | 482   | 23.9% | 8      | 222 | 46.8% |
| 奈良県  | 745  | 208   | 21.8% | 7      | 67  | 33.3% |
| 島根県  | 1060 | 206   | 16.3% | 7      | 106 | 53.3% |
| 広島県  | 1814 | 460   | 20.2% | 22     | 196 | 44.7% |
| 長崎県  | 不明   | 267   | 不明    | 7      | 104 | 40.0% |

③狩猟免許の再取得意欲

狩猟免許の再取得意欲の有無は、意欲なしが最も多かったものの(岩手県46.2%~秋田県68.3%)、意欲がある回答者も少なからずいた(秋田県16.8%~岩手県38.5%)(表6)。狩猟免許再取得の条件

18 項目（「1：全く当てはまらない」～「7：非常に当てはまる」の7件法で回答）の平均スコアは、調査地域問わず「猟銃の更新手続きの簡素化」（福島県 5.21～群馬県 5.83、8 県の平均スコア 5.45）、「猟銃や実包・火薬類の規制緩和」（山形県 4.54～群馬県 5.43、8 県の平均値 4.89）が高かったが、それ以外の項目は地域によって大きく異なっていた（付表 4）。福島県と栃木県では、放射能汚染に関連した項目が他地域に比べて高く、中でも「野生動物や猟場の放射能汚染情報の周知」（福島県 5.36、栃木県 4.45）が最も高く、次いで「獲物の放射能汚染レベルの検査体制の整備」（福島県 5.18、栃木県 4.36）が高かった。

以上の結果から、放射能汚染に対する狩猟者の懸念を払拭するための体制を整えば、狩猟を辞めた人が狩猟を再開する可能性が高まることが示唆された。

表6 狩猟免許未更新者の免許再取得への意欲

| 県名             |   | あり    | なし    | 不明    |
|----------------|---|-------|-------|-------|
| 秋田県<br>(N=161) | n | 140   | 18    | 13    |
|                | % | 80.5% | 10.3% | 7.5%  |
| 山形県<br>(N=135) | n | 28    | 90    | 17    |
|                | % | 20.7% | 66.7% | 12.6% |
| 岩手県<br>(N=169) | n | 65    | 78    | 26    |
|                | % | 38.5% | 46.2% | 15.4% |
| 宮城県<br>(N=135) | n | 36    | 79    | 20    |
|                | % | 26.7% | 58.5% | 14.8% |
| 福島県<br>(N=330) | n | 118   | 156   | 56    |
|                | % | 35.8% | 47.3% | 17.0% |
| 栃木県<br>(N=192) | n | 73    | 95    | 24    |
|                | % | 38.0% | 49.5% | 12.5% |
| 茨城県<br>(N=255) | n | 68    | 155   | 32    |
|                | % | 26.7% | 60.8% | 12.5% |
| 群馬県<br>(N=156) | n | 35    | 99    | 22    |
|                | % | 22.4% | 63.5% | 14.1% |

### (3) 新規狩猟者アンケート

近年の栃木県における狩猟免許試験の受験者数と合格者数は、平成 19(2007)年をピークにその後は半減し横ばい傾向である（図 5）。震災前後を比較しても大きな変化は見られない。新規狩猟者アンケートの回答者のうち、初めて狩猟免許を取得する受験者（以下、新規狩猟者と記す）が狩猟対象にしたいと考えている狩猟鳥獣（複数回答可）は、イノシシ（70.9%）、シカ（43.0%）、キジ・ヤマドリ類（13.9%）、カモ類（11.4%）の順に多かった。新規狩猟者が狩猟を始めようと思った動機（15 項目について「1：全く当てはまらない」～「7：非常に当てはまる」の7件法で回答）の平均スコアは、農林業被害を減らすため（5.78）が最も高く、次いで生態系を守るため（5.12）、自然と触れ合うため

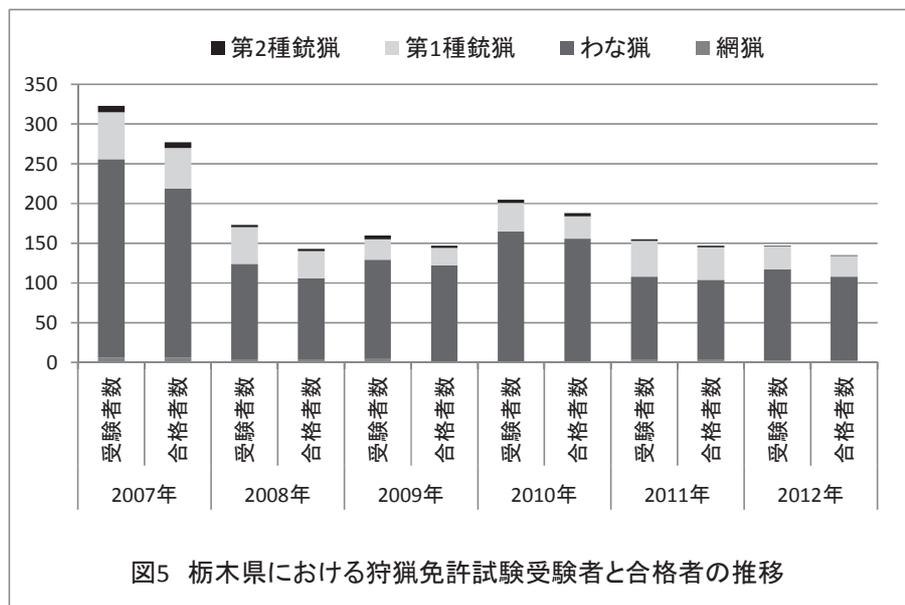


表7 新規狩猟者の狩猟免許取得の動機

| 動機                     | 全く当てはまらない        | 当てはまらない     | やや当てはまらない  | どちらとも言えない   | やや当てはまる     | 当てはまる       | 非常に当てはまる    | 合計         | 平均スコア |
|------------------------|------------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------|
| 野生鳥獣による農林水産業への被害を減らすため | 度数 2<br>% 2.5%   | 2<br>2.5%   | 0<br>0.0%  | 10<br>12.7% | 11<br>13.9% | 22<br>27.8% | 32<br>40.5% | 79<br>100% | 5.78  |
| 自然や生態系を守るため            | 度数 3<br>% 3.9%   | 3<br>3.9%   | 0<br>0.0%  | 15<br>19.5% | 21<br>27.3% | 25<br>32.5% | 10<br>13.0% | 77<br>100% | 5.12  |
| 狩猟の文化や伝統、技術を守るため       | 度数 12<br>% 15.4% | 9<br>11.5%  | 5<br>6.4%  | 24<br>30.8% | 11<br>14.1% | 11<br>14.1% | 6<br>7.7%   | 78<br>100% | 3.90  |
| 肉や毛皮等に興味があるから          | 度数 27<br>% 34.2% | 19<br>24.1% | 4<br>5.1%  | 7<br>8.9%   | 8<br>10.1%  | 9<br>11.4%  | 5<br>6.3%   | 79<br>100% | 2.96  |
| 周りの狩猟者から勧められたから        | 度数 20<br>% 25.6% | 8<br>10.3%  | 1<br>1.3%  | 10<br>12.8% | 13<br>16.7% | 17<br>21.8% | 9<br>11.5%  | 78<br>100% | 3.96  |
| 家族(狩猟者以外)から勧められたから     | 度数 45<br>% 57.0% | 13<br>16.5% | 2<br>2.5%  | 8<br>10.1%  | 4<br>5.1%   | 4<br>5.1%   | 3<br>3.8%   | 79<br>100% | 2.20  |
| 同じ集落の住民(狩猟者以外)に勧められたから | 度数 44<br>% 56.4% | 9<br>11.5%  | 1<br>1.3%  | 8<br>10.3%  | 4<br>5.1%   | 8<br>10.3%  | 4<br>5.1%   | 78<br>100% | 2.47  |
| 行政に勧められたから             | 度数 44<br>% 55.7% | 14<br>17.7% | 1<br>1.3%  | 8<br>10.1%  | 5<br>6.3%   | 4<br>5.1%   | 3<br>3.8%   | 79<br>100% | 2.24  |
| 仕事で必要だから               | 度数 33<br>% 42.3% | 12<br>15.4% | 1<br>1.3%  | 5<br>6.4%   | 8<br>10.3%  | 6<br>7.7%   | 13<br>16.7% | 78<br>100% | 3.17  |
| 狩猟仲間との交流を楽しむため         | 度数 25<br>% 31.6% | 14<br>17.7% | 5<br>6.3%  | 15<br>19.0% | 7<br>8.9%   | 12<br>15.2% | 1<br>1.3%   | 79<br>100% | 3.06  |
| 獲物との駆け引きを楽しむため         | 度数 28<br>% 35.4% | 17<br>21.5% | 8<br>10.1% | 10<br>12.7% | 6<br>7.6%   | 3<br>3.8%   | 7<br>8.9%   | 79<br>100% | 2.82  |
| 狩猟が面白そうだから             | 度数 21<br>% 26.6% | 13<br>16.5% | 8<br>10.1% | 6<br>7.6%   | 9<br>11.4%  | 14<br>17.7% | 8<br>10.1%  | 79<br>100% | 3.54  |
| 銃あるいはワナ等の猟具に興味があるから    | 度数 15<br>% 19.2% | 13<br>16.7% | 3<br>3.8%  | 13<br>16.7% | 14<br>17.9% | 13<br>16.7% | 7<br>9.0%   | 78<br>100% | 3.83  |
| 健康のため                  | 度数 28<br>% 35.4% | 16<br>20.3% | 3<br>3.8%  | 8<br>10.1%  | 8<br>10.1%  | 7<br>8.9%   | 9<br>11.4%  | 79<br>100% | 3.11  |
| 自然と触れ合うため              | 度数 17<br>% 21.5% | 10<br>12.7% | 2<br>2.5%  | 12<br>15.2% | 13<br>16.5% | 10<br>12.7% | 15<br>19.0% | 79<br>100% | 4.06  |

表8 栃木県の新規狩猟者の狩猟に対する考えや行動意図

| 考えや行動意図               | 全く当てはまらない        | 当てはまらない     | やや当てはまらない  | どちらとも言えない   | やや当てはまる     | 当てはまる       | 非常に当てはまる    | 合計         | 平均スコア |
|-----------------------|------------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------|
| 捕獲技術をできるだけ早く習得したい     | 度数 1<br>% 1.4%   | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%  | 4<br>5.6%   | 15<br>20.8% | 30<br>41.7% | 22<br>30.6% | 72<br>100% | 5.92  |
| 有害鳥獣駆除に積極的に協力したい      | 度数 1<br>% 1.4%   | 0<br>0.0%   | 1<br>1.4%  | 12<br>16.4% | 13<br>17.8% | 19<br>26.0% | 27<br>37.0% | 73<br>100% | 5.75  |
| 猟期中はできるだけたくさん出猟したい    | 度数 3<br>% 4.2%   | 2<br>2.8%   | 8<br>11.3% | 18<br>25.4% | 17<br>23.9% | 13<br>18.3% | 10<br>14.1% | 71<br>100% | 4.73  |
| できるだけ色々な場所で捕獲に取り組みたい  | 度数 7<br>% 9.7%   | 9<br>12.5%  | 5<br>6.9%  | 23<br>31.9% | 16<br>22.2% | 6<br>8.3%   | 6<br>8.3%   | 72<br>100% | 4.03  |
| 被害がなくなれば捕獲に取り組む必要性はない | 度数 9<br>% 12.3%  | 8<br>11.0%  | 5<br>6.8%  | 18<br>24.7% | 10<br>13.7% | 13<br>17.8% | 10<br>13.7% | 73<br>100% | 4.25  |
| 捕獲活動にはできるだけお金をかけたくない  | 度数 4<br>% 5.5%   | 4<br>5.5%   | 2<br>2.7%  | 25<br>34.2% | 15<br>20.5% | 14<br>19.2% | 9<br>12.3%  | 73<br>100% | 4.66  |
| 少しでも多くの獲物を捕獲したい       | 度数 6<br>% 8.5%   | 5<br>7.0%   | 6<br>8.5%  | 22<br>31.0% | 13<br>18.3% | 12<br>16.9% | 7<br>9.9%   | 71<br>100% | 4.34  |
| とった獲物の放射能汚染が気になる      | 度数 9<br>% 12.3%  | 6<br>8.2%   | 2<br>2.7%  | 7<br>9.6%   | 15<br>20.5% | 17<br>23.3% | 17<br>23.3% | 73<br>100% | 4.81  |
| 猟場の放射能汚染が気になる         | 度数 12<br>% 16.7% | 5<br>6.9%   | 3<br>4.2%  | 9<br>12.5%  | 14<br>19.4% | 15<br>20.8% | 14<br>19.4% | 72<br>100% | 4.51  |
| 他の狩猟者との付き合いに不安がある     | 度数 15<br>% 20.5% | 13<br>17.8% | 5<br>6.8%  | 26<br>35.6% | 9<br>12.3%  | 3<br>4.1%   | 2<br>2.7%   | 73<br>100% | 3.25  |
| 捕獲活動に費やせる時間は十分ある      | 度数 4<br>% 5.6%   | 6<br>8.3%   | 8<br>11.1% | 33<br>45.8% | 6<br>8.3%   | 11<br>15.3% | 4<br>5.6%   | 72<br>100% | 4.11  |

(4.06)、周りの狩猟者から勧められた(3.96)が高かった(表7)。

新規狩猟者の狩猟に対する考え(11項目について同じく7件法で回答)の平均スコアは、捕獲技術をできるだけ早く習得したい(5.92)が最も高く、次いで有害鳥獣駆除に積極的に協力したい(5.75)となり、獲物の放射能汚染が気になる、猟場の放射能汚染が気になるといった放射能汚染関連の質問よりも高かった(それぞれ4.81、4.51)(表8)。

以上の結果から、栃木県の新規狩猟者の多くは、狩猟鳥獣の中で放射能汚染の影響を最も受けやすいイノシシを狩猟対象とし、放射能汚染を懸念する意識も高かったが、狩猟者の新規参入において、放射能汚染の負の影響よりも、深刻化する鳥獣被害への対応の方が重要であることが分かった。

#### 4 考察

狩猟を引退した年齢について、平成20(2008)年と21(2009)年に栃木県において実施した同様の調査結果(平均68.1歳)(上田ほか2011)と比較してもほとんど差はなく、狩猟者登録をしなかった人の割合も少なかったことから、栃木県では、放射能汚染が狩猟者の人口動態に与えた影響は、現時点では限定的であると考えられた。新規狩猟者の調査結果から、県内で野生鳥獣による農林業被害への対応の必要性が高まっていることが、狩猟者の新規参入を支え、狩猟活動を継続する動機になっている状況が読み取れる。このような傾向は、平成19(2007)年～21(2009)年の3年間で実施した同様の調査結果(上田ほか2010)にも表れており、今後も続く可能性が高いと考えられる。

一方で、狩猟者の狩猟活動量や狩猟場所に対する放射能汚染の影響は、注視する必要がある。特に猟場の放射能汚染への懸念が、狩猟者登録と出猟日数の意思決定に、強い負の影響を与えていたことが明らかとなったので、懸念を払拭するための情報提供や、重点個所を絞り込んだうえでの森林内の除染も検討する必要がある。栃木県では、放射能汚染への影響により出猟を取りやめた場所があると回答した人の割合は福島県に次いで多く、さらに日光市では福島県浜通りと同程度の出猟控えが発生していると推定された。今後は出猟控えが生じていると考えられた地域において、より詳細な出猟実態や狩猟活動量の調査を行う必要がある。その結果如何では、被害対策のための捕獲報償費等を、県内の他地域よりも重点配分するなどの対応も検討する必要があるだろう。

狩猟を辞めた理由として、放射能汚染の影響はそれほど大きくはなかったが、多くの元狩猟者が望んでいたように、汚染情報の周知や検査体制の充実は重要な対応策であると考えられる。これらの体制が充実すれば、栃木県の狩猟者の捕獲個体の食利用や利活用も進み、狩猟に対する充足感も高まることが期待される。狩猟を辞めた理由について、平成20(2008)年と21(2009)年の調査結果では高齢化や病気が最も重要であったが(上田ほか2011)、今回の調査結果では銃刀法関連の項目が高齢化や病気を上回っていた。前回の調査時には、猟銃所持許可の更新時の技能講習の受講が施行される前であったためと考えられたが、今回の逆転現象は、技能講習の義務化の影響によるものと考えられる。技能講習は、有害鳥獣捕獲活動に従事している狩猟者に限り、平成26(2014)年12月6日まで免除されることとなっているが、この免除期限が切れた場合、狩猟者の減少はさらに加速化することが予測される。したがって、狩猟者の確保・育成について、抜本的な対応策が急務である。他地域の成功事例(上田印刷中)を参考にしながら、本県の狩猟者育成システムを検討する必要がある。

#### 5 謝辞

本調査は、栃木県内では栃木県が行い、同県外では富士フィルム・グリーンファンド及び科研費補助金(23530124)を受けて実施しました。アンケートにご協力いただいた皆様、関係機関の皆様にご心

から感謝いたします。

## 6 引用文献

- 上田剛平 (印刷中) 地方自治体は狩猟者減少時代をどう乗り越えればよいのか? . 野生生物と社会.  
 上田剛平・丸山哲也・松田奈帆子 (2010) 栃木県における新規狩猟者の実態と意識の変化. 野生鳥獣研究紀要 36, pp1-6.  
 上田剛平・丸山哲也・松田奈帆子 (2011) 栃木県における狩猟免許未更新者の実態. 野生鳥獣研究紀要 37, pp1-6.  
 上田剛平・小寺祐二・車田利夫・竹内正彦・桜井良・佐々木智恵 (2012) 日本の狩猟者はなぜ狩猟を辞めるのか? -狩猟者の維持政策への提言-. 野生生物保護 13(2), 47-57.

付表1. 猟場の放射能汚染に対する意識

|     |    | 猟場の放射能汚染が不安で出猟をためらうことがある |         |           |           |         |       |          | 合計   | 平均スコア |
|-----|----|--------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------|----------|------|-------|
|     |    | 全く当てはまらない                | 当てはまらない | やや当てはまらない | どちらとも言えない | やや当てはまる | 当てはまる | 非常に当てはまる |      |       |
| 青森県 | 度数 | 271                      | 200     | 44        | 155       | 78      | 55    | 30       | 833  | 2.82  |
|     | %  | 32.5%                    | 24.0%   | 5.3%      | 18.6%     | 9.4%    | 6.6%  | 3.6%     |      |       |
| 秋田県 | 度数 | 456                      | 345     | 90        | 231       | 70      | 58    | 23       | 1273 | 2.51  |
|     | %  | 35.8%                    | 27.1%   | 7.1%      | 18.1%     | 5.5%    | 4.6%  | 1.8%     |      |       |
| 山形県 | 度数 | 230                      | 241     | 73        | 216       | 127     | 107   | 45       | 1039 | 3.26  |
|     | %  | 22.1%                    | 23.2%   | 7.0%      | 20.8%     | 12.2%   | 10.3% | 4.3%     |      |       |
| 岩手県 | 度数 | 200                      | 226     | 63        | 294       | 181     | 169   | 96       | 1229 | 3.75  |
|     | %  | 16.3%                    | 18.4%   | 5.1%      | 23.9%     | 14.7%   | 13.8% | 7.8%     |      |       |
| 宮城県 | 度数 | 127                      | 136     | 70        | 224       | 209     | 245   | 187      | 1198 | 4.45  |
|     | %  | 10.6%                    | 11.4%   | 5.8%      | 18.7%     | 17.4%   | 20.5% | 15.6%    |      |       |
| 福島県 | 度数 | 78                       | 87      | 46        | 127       | 161     | 261   | 343      | 1103 | 5.14  |
|     | %  | 7.1%                     | 7.9%    | 4.2%      | 11.5%     | 14.6%   | 23.7% | 31.1%    |      |       |
| 栃木県 | 度数 | 108                      | 138     | 65        | 190       | 190     | 196   | 148      | 1035 | 4.35  |
|     | %  | 10.4%                    | 13.3%   | 6.3%      | 18.4%     | 18.4%   | 18.9% | 14.3%    |      |       |
| 茨城県 | 度数 | 134                      | 188     | 52        | 209       | 188     | 218   | 138      | 1127 | 4.18  |
|     | %  | 11.9%                    | 16.7%   | 4.6%      | 18.5%     | 16.7%   | 19.3% | 12.2%    |      |       |
| 群馬県 | 度数 | 285                      | 362     | 93        | 365       | 226     | 181   | 126      | 1638 | 3.57  |
|     | %  | 17.4%                    | 22.1%   | 5.7%      | 22.3%     | 13.8%   | 11.1% | 7.7%     |      |       |
| 埼玉県 | 度数 | 141                      | 139     | 40        | 154       | 119     | 118   | 62       | 773  | 3.74  |
|     | %  | 18.2%                    | 18.0%   | 5.2%      | 19.9%     | 15.4%   | 15.3% | 8.0%     |      |       |
| 東京都 | 度数 | 218                      | 182     | 54        | 158       | 99      | 123   | 90       | 924  | 3.51  |
|     | %  | 23.6%                    | 19.7%   | 5.8%      | 17.1%     | 10.7%   | 13.3% | 9.7%     |      |       |
| 山梨県 | 度数 | 537                      | 317     | 68        | 243       | 75      | 67    | 36       | 1343 | 2.51  |
|     | %  | 40.0%                    | 23.6%   | 5.1%      | 18.1%     | 5.6%    | 5.0%  | 2.7%     |      |       |
| 富山県 | 度数 | 170                      | 136     | 27        | 91        | 21      | 16    | 4        | 465  | 2.40  |
|     | %  | 36.6%                    | 29.2%   | 5.8%      | 19.6%     | 4.5%    | 3.4%  | 0.9%     |      |       |
| 長野県 | 度数 | 247                      | 222     | 52        | 132       | 43      | 41    | 16       | 753  | 2.59  |
|     | %  | 32.8%                    | 29.5%   | 6.9%      | 17.5%     | 5.7%    | 5.4%  | 2.1%     |      |       |
| 岐阜県 | 度数 | 551                      | 418     | 100       | 305       | 75      | 71    | 36       | 1556 | 2.54  |
|     | %  | 35.4%                    | 26.9%   | 6.4%      | 19.6%     | 4.8%    | 4.6%  | 2.3%     |      |       |
| 奈良県 | 度数 | 250                      | 161     | 29        | 105       | 22      | 21    | 11       | 599  | 2.32  |
|     | %  | 41.7%                    | 26.9%   | 4.8%      | 17.5%     | 3.7%    | 3.5%  | 1.8%     |      |       |
| 島根県 | 度数 | 299                      | 226     | 63        | 121       | 27      | 16    | 8        | 760  | 2.25  |
|     | %  | 39.3%                    | 29.7%   | 8.3%      | 15.9%     | 3.6%    | 2.1%  | 1.1%     |      |       |
| 広島県 | 度数 | 704                      | 440     | 67        | 245       | 59      | 54    | 17       | 1586 | 2.21  |
|     | %  | 44.4%                    | 27.7%   | 4.2%      | 15.4%     | 3.7%    | 3.4%  | 1.1%     |      |       |
| 長崎県 | 度数 | 335                      | 182     | 37        | 101       | 23      | 25    | 8        | 711  | 2.16  |
|     | %  | 47.1%                    | 25.6%   | 5.2%      | 14.2%     | 3.2%    | 3.5%  | 1.1%     |      |       |

付表2. 獲った獲物の放射能汚染に対する意識

|     | 獲った獲物の放射能汚染が気になる |              |              |             |              |              |              |              | 合計             | 平均スコア |
|-----|------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|-------|
|     | 全く当てはまらない        | 当てはまらない      | やや当てはまらない    | どちらとも言えない   | やや当てはまる      | 当てはまる        | 非常に当てはまる     |              |                |       |
| 青森県 | 度数<br>%          | 139<br>16.5% | 163<br>19.4% | 71<br>8.4%  | 174<br>20.7% | 108<br>12.8% | 110<br>13.1% | 77<br>9.1%   | 842<br>100.0%  | 3.70  |
| 秋田県 | 度数<br>%          | 209<br>16.5% | 250<br>19.7% | 122<br>9.6% | 310<br>24.4% | 167<br>13.1% | 139<br>10.9% | 73<br>5.7%   | 1270<br>100.0% | 3.54  |
| 山形県 | 度数<br>%          | 123<br>11.9% | 133<br>12.9% | 62<br>6.0%  | 229<br>22.2% | 178<br>17.3% | 190<br>18.4% | 115<br>11.2% | 1030<br>100.0% | 4.20  |
| 岩手県 | 度数<br>%          | 84<br>6.9%   | 128<br>10.5% | 65<br>5.3%  | 233<br>19.2% | 226<br>18.6% | 244<br>20.1% | 235<br>19.3% | 1215<br>100.0% | 4.70  |
| 宮城県 | 度数<br>%          | 57<br>4.7%   | 72<br>6.0%   | 69<br>5.7%  | 185<br>15.4% | 202<br>16.8% | 291<br>24.2% | 325<br>27.1% | 1201<br>100.0% | 5.14  |
| 福島県 | 度数<br>%          | 26<br>2.4%   | 43<br>3.9%   | 37<br>3.4%  | 99<br>9.0%   | 136<br>12.4% | 278<br>25.3% | 480<br>43.7% | 1099<br>100.0% | 5.76  |
| 栃木県 | 度数<br>%          | 51<br>4.9%   | 70<br>6.7%   | 47<br>4.5%  | 158<br>15.1% | 197<br>18.8% | 248<br>23.6% | 278<br>26.5% | 1049<br>100.0% | 5.13  |
| 茨城県 | 度数<br>%          | 68<br>6.0%   | 79<br>7.0%   | 65<br>5.8%  | 188<br>16.7% | 210<br>18.7% | 268<br>23.8% | 248<br>22.0% | 1126<br>100.0% | 4.94  |
| 群馬県 | 度数<br>%          | 130<br>8.0%  | 179<br>11.1% | 89<br>5.5%  | 355<br>22.0% | 293<br>18.1% | 317<br>19.6% | 253<br>15.7% | 1616<br>100.0% | 4.53  |
| 埼玉県 | 度数<br>%          | 69<br>9.0%   | 74<br>9.6%   | 44<br>5.7%  | 141<br>18.3% | 140<br>18.2% | 163<br>21.2% | 139<br>18.1% | 770<br>100.0%  | 4.63  |
| 東京都 | 度数<br>%          | 115<br>12.5% | 117<br>12.7% | 40<br>4.3%  | 176<br>19.1% | 131<br>14.2% | 184<br>20.0% | 157<br>17.1% | 920<br>100.0%  | 4.38  |
| 山梨県 | 度数<br>%          | 304<br>22.2% | 256<br>18.7% | 96<br>7.0%  | 294<br>21.4% | 159<br>11.6% | 171<br>12.5% | 91<br>6.6%   | 1371<br>100.0% | 3.46  |
| 富山県 | 度数<br>%          | 104<br>22.5% | 103<br>22.3% | 35<br>7.6%  | 109<br>23.6% | 50<br>10.8%  | 40<br>8.7%   | 21<br>4.5%   | 462<br>100.0%  | 3.22  |
| 長野県 | 度数<br>%          | 127<br>16.8% | 129<br>17.1% | 41<br>5.4%  | 192<br>25.5% | 101<br>13.4% | 105<br>13.9% | 59<br>7.8%   | 754<br>100.0%  | 3.75  |
| 岐阜県 | 度数<br>%          | 366<br>23.4% | 306<br>19.6% | 104<br>6.7% | 385<br>24.6% | 159<br>10.2% | 147<br>9.4%  | 96<br>6.1%   | 1563<br>100.0% | 3.31  |
| 奈良県 | 度数<br>%          | 193<br>32.2% | 129<br>21.5% | 29<br>4.8%  | 118<br>19.7% | 56<br>9.3%   | 50<br>8.3%   | 25<br>4.2%   | 600<br>100.0%  | 2.94  |
| 島根県 | 度数<br>%          | 196<br>25.6% | 198<br>25.8% | 60<br>7.8%  | 159<br>20.7% | 60<br>7.8%   | 61<br>8.0%   | 33<br>4.3%   | 767<br>100.0%  | 3.01  |
| 広島県 | 度数<br>%          | 562<br>35.6% | 386<br>24.5% | 103<br>6.5% | 309<br>19.6% | 93<br>5.9%   | 83<br>5.3%   | 42<br>2.7%   | 1578<br>100.0% | 2.62  |
| 長崎県 | 度数<br>%          | 275<br>38.2% | 167<br>23.2% | 44<br>6.1%  | 130<br>18.1% | 49<br>6.8%   | 32<br>4.4%   | 23<br>3.2%   | 720<br>100.0%  | 2.58  |

付表3. 狩猟を辞めた理由23項目の平均スコア

| 狩猟を辞めた理由                     | 秋田県  | 山形県  | 岩手県  | 宮城県  | 福島県  | 栃木県  | 茨城県  | 群馬県  | 計    |
|------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 高齢化や病気、怪我のため                 | 4.17 | 4.24 | 4.10 | 4.04 | 3.52 | 3.87 | 4.10 | 4.20 | 3.97 |
| 猟銃や実包・火薬類の規制が<br>厳しいから       | 4.46 | 4.66 | 4.56 | 4.06 | 4.32 | 4.67 | 4.43 | 4.61 | 4.46 |
| 猟銃所持許可の更新が複雑で<br>難しいから       | 4.59 | 4.50 | 4.80 | 4.39 | 4.40 | 4.41 | 4.43 | 4.44 | 4.48 |
| くくりワナの構造やワナの設置<br>数の規制が厳しいから | 1.89 | 2.03 | 2.09 | 2.09 | 2.33 | 2.02 | 1.82 | 2.16 | 2.07 |
| 獲物や食糧としての魅力が減っ<br>たから        | 2.99 | 3.06 | 2.63 | 2.69 | 3.14 | 2.71 | 2.59 | 2.38 | 2.80 |
| 獲物の数が減ったから                   | 4.07 | 3.95 | 3.44 | 3.26 | 3.48 | 3.16 | 3.50 | 3.30 | 3.51 |
| 狩猟場所が減ったから                   | 3.75 | 3.72 | 3.14 | 3.42 | 3.20 | 3.60 | 3.77 | 3.40 | 3.48 |
| 狩猟税や猟友会の会費などの<br>経費が高いから     | 4.05 | 4.30 | 3.69 | 3.69 | 3.60 | 3.97 | 3.57 | 3.48 | 3.76 |
| 猟具購入費用、維持管理費、弾<br>代の経費が高いから  | 3.60 | 3.81 | 3.31 | 3.44 | 3.38 | 3.64 | 3.22 | 3.36 | 3.45 |
| 狩猟仲間がいなくなったから                | 3.22 | 3.28 | 2.78 | 3.40 | 3.10 | 3.26 | 3.66 | 3.22 | 3.24 |
| 鳥獣被害が減少したから                  | 3.08 | 2.58 | 2.31 | 2.52 | 2.45 | 2.33 | 2.58 | 2.46 | 2.53 |
| 思ったように獲物がとれないか<br>ら          | 3.58 | 3.49 | 3.04 | 2.99 | 2.90 | 2.82 | 3.04 | 2.84 | 3.06 |
| 忙しくて出猟できないから                 | 2.98 | 3.22 | 2.78 | 3.02 | 2.78 | 2.79 | 2.82 | 2.95 | 2.88 |
| 狩猟に対する興味がなくなった<br>から         | 3.00 | 3.01 | 2.42 | 2.73 | 2.62 | 2.73 | 2.93 | 2.68 | 2.75 |
| 狩猟免許の更新を忘れたから                | 1.62 | 1.66 | 1.72 | 1.70 | 1.68 | 1.51 | 1.57 | 1.73 | 1.64 |
| 猟犬が死んだから                     | 1.76 | 1.82 | 1.70 | 2.07 | 2.00 | 1.96 | 2.11 | 1.91 | 1.93 |
| 家族の反対があるから                   | 2.05 | 1.92 | 1.90 | 1.88 | 2.01 | 1.82 | 1.80 | 1.80 | 1.90 |
| 東日本大震災の影響                    | 1.55 | 1.76 | 2.12 | 2.60 | 4.13 | 2.45 | 2.33 | 1.84 | 2.55 |
| 東日本大震災や原発事故の影<br>響で避難したため    | 1.37 | 1.48 | 1.58 | 1.93 | 2.71 | 1.56 | 1.48 | 1.26 | 1.77 |
| とった獲物の放射能汚染が不安<br>だから        | 1.60 | 2.21 | 2.49 | 2.66 | 4.16 | 3.26 | 2.74 | 2.22 | 2.86 |
| 猟場の放射能汚染が不安だか<br>ら           | 1.50 | 2.19 | 2.45 | 2.71 | 4.12 | 3.15 | 2.69 | 2.26 | 2.82 |
| 肉の放射線量の計測が困難だ<br>から          | 1.57 | 2.27 | 2.45 | 2.85 | 3.97 | 3.09 | 2.72 | 2.30 | 2.81 |
| 放射線量基準値を超えた獲物<br>の処理が困難だから   | 1.59 | 2.21 | 2.21 | 2.81 | 4.06 | 3.18 | 2.71 | 2.29 | 2.85 |

付表4. 狩猟免許再取得の条件18項目の平均スコア

| 再取得の条件              | 秋田県  | 山形県  | 岩手県  | 宮城県  | 福島県  | 栃木県  | 茨城県  | 群馬県  | 計    |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 病気や怪我の快復            | 2.33 | 2.76 | 2.63 | 2.50 | 2.43 | 2.41 | 2.42 | 3.12 | 2.53 |
| 猟銃や実包・火薬類の規制緩和      | 5.04 | 4.54 | 4.84 | 5.03 | 4.75 | 4.96 | 4.82 | 5.43 | 4.89 |
| 猟銃の更新手続きの簡素化        | 5.56 | 5.29 | 5.63 | 5.56 | 5.21 | 5.43 | 5.45 | 5.83 | 5.45 |
| ワナに対する規制緩和          | 2.64 | 3.13 | 3.17 | 3.36 | 3.74 | 3.52 | 3.15 | 4.65 | 3.47 |
| 獲物の数の増加             | 3.42 | 4.37 | 3.63 | 3.83 | 3.96 | 3.68 | 3.80 | 4.68 | 3.89 |
| 狩猟場所の増加             | 3.38 | 4.19 | 3.60 | 3.94 | 3.99 | 4.22 | 4.26 | 4.17 | 4.00 |
| 狩猟にかかる経費の補助制度       | 4.31 | 4.74 | 4.11 | 4.22 | 4.62 | 4.69 | 4.24 | 4.18 | 4.42 |
| 狩猟仲間の増加             | 3.56 | 4.74 | 3.57 | 3.53 | 4.02 | 3.72 | 4.39 | 3.76 | 3.92 |
| 鳥獣被害の増加             | 3.70 | 4.62 | 4.37 | 3.56 | 4.59 | 4.57 | 4.69 | 4.59 | 4.43 |
| 捕獲技術講習会等の開催         | 3.33 | 3.64 | 3.50 | 3.75 | 3.91 | 3.70 | 4.06 | 3.59 | 3.75 |
| 狩猟にかけられる時間の増加       | 3.59 | 4.38 | 3.46 | 3.60 | 3.92 | 3.95 | 4.30 | 4.55 | 3.94 |
| 新しい猟犬の入手            | 2.59 | 3.11 | 2.54 | 3.03 | 3.00 | 2.80 | 3.29 | 3.00 | 2.93 |
| 家族の同意や理解            | 2.44 | 2.65 | 2.33 | 2.61 | 2.57 | 2.44 | 2.91 | 2.74 | 2.58 |
| 避難生活の解除             | 1.48 | 1.30 | 1.37 | 2.29 | 3.22 | 1.85 | 1.92 | 2.15 | 2.16 |
| 猟場の放射能の除染           | 2.00 | 2.08 | 3.05 | 3.31 | 5.11 | 4.01 | 3.55 | 3.21 | 3.74 |
| 獲物の放射能汚染レベルの検査体制の整備 | 2.11 | 2.52 | 3.29 | 3.60 | 5.18 | 4.36 | 3.94 | 3.47 | 3.97 |
| 野生動物や猟場の放射能汚染情報の周知  | 2.19 | 2.64 | 3.48 | 3.54 | 5.36 | 4.45 | 4.33 | 3.44 | 4.13 |
| 放射能汚染個体の買取などの補償     | 1.96 | 2.28 | 3.35 | 3.40 | 4.63 | 4.12 | 3.78 | 3.26 | 3.72 |